

水と空気のスペクタクルショー

アオと夜の虹の パレード

Under The Midnight Rainbow

SUNTORY 

One Water. One Air. One Planet.



Thank you for coming. —The Under the Midnight Rainbow team.

CONCEPT

水と空気は覚えている。

水と空気は覚えている。
地球に起こったすべてのことを。
地球に生まれたすべての生命のことを。

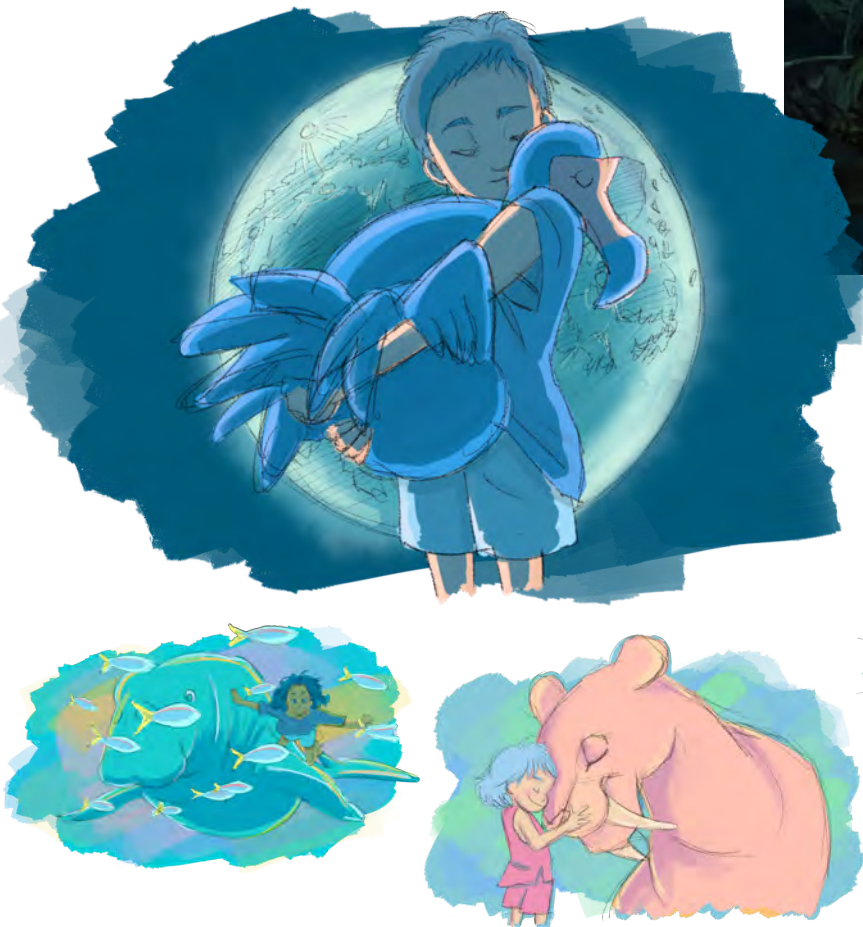
魚が陸にあがったときのこと、
恐竜が空をとんだときのこと、
水と空気は覚えている。

水と空気はめぐってきた。
過去から未来へ。
時代を超えて生命と生命をつないできた。

トリケラトプスが飲んだ水、
ドードーが吸っていた空気、
私たちにもめぐっている。

水と空気はただひとつ。
何億年もおなじひとつ。
ずっとみんなで共有している。

水と空気は知っている。
これからの私たちがどうすべきかを。
いのちが輝くためにすべきことを。

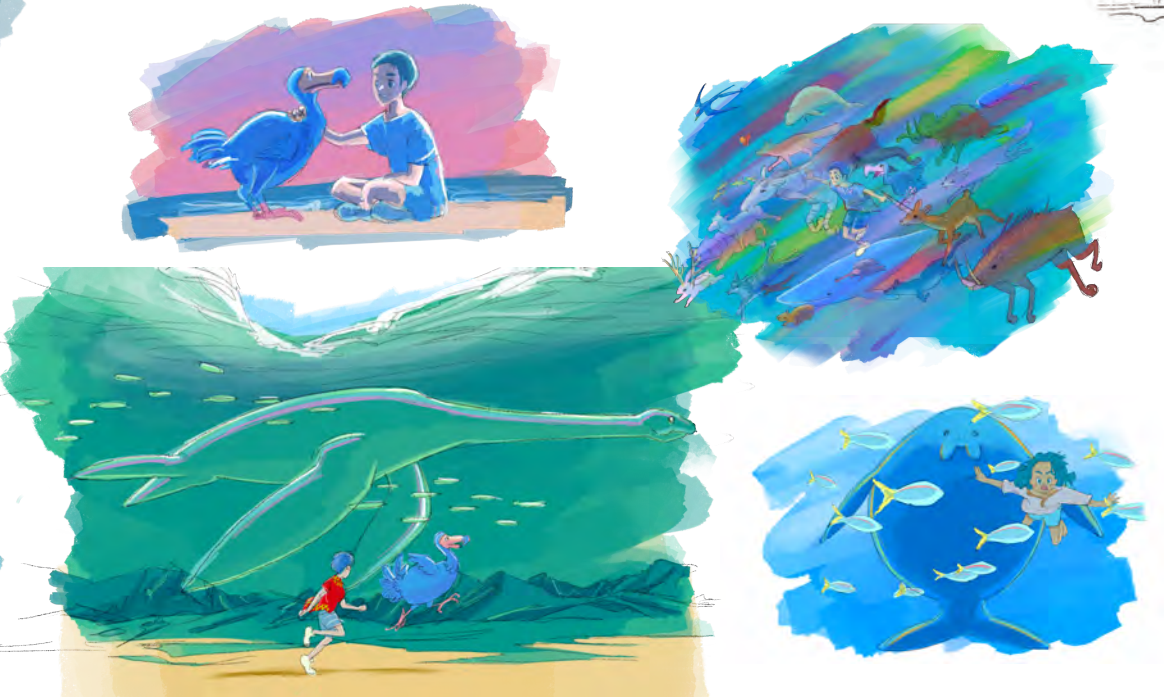


STORY

この星のどこか。美しい水、澄んだ空気、生き物たち。
生命が輝く島があった。その島には、言い伝えがあった。
月に虹がかかる夜、不思議な生きものたちによる祝祭
祭が開かれるという。動物、虫、さらには、絶滅した
はずの生きものまで。

そんな島に暮らすひとりの子ども<アオ>は、ある夜、
一匹の鳥と出会う。名は、ドードー。自身を精霊と呼ぶ
奇妙な鳥だった。「40億年の間、この星をめぐる水と
空気の記憶が奇跡の夜だけにあふれだす…」まさにそ
の日が、月に虹がかかる奇跡の夜だった。

虹の下に集まるのは、見たことのないたくさんの生きもの
たち。やがて祝祭がはじまり楽しんでいると、世界は
突如として一変してしまった。自然が破壊され、アオと
生きものたちに訪れる試練。その時、ドードーはある唄
を歌うようにアオに頼んだ――。その唄に込められた
想いとは？そして祝祭の行方はいかに…。



初期キービジュアル



アオ

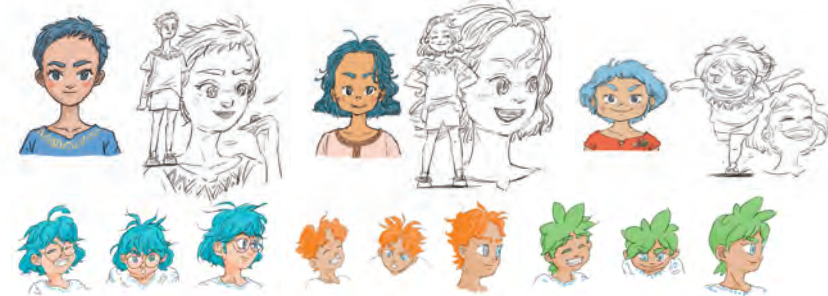
島の子。
自然や生きものが大好き。
おばあちゃんと二人で
暮らしている。



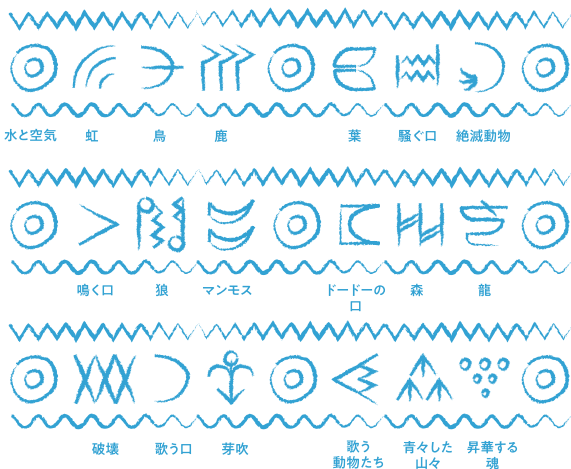
ディレクター牧野の
初期アオのラフでは
様々なトーンで検証
されていた。



CGディレクター竹野により仕上げられたアオ。髪の色も頭水に投影された際にしっかり映るよう明るく修正された。



アオは当初、アートディレクター小柳と数本によって、引っ込み思案な姿から活発な姿まで、
さまざまな性格像がビジュアルで試みられ、もっとも観られる主人公像が模索された。



島に伝わる模様

島の至るところに見られる模様。その意味はすでに伝承されていないが、昔からこの模様は使われ続けてきた。○は水や空気を表すとされ、模様を読み解くとショーで起きる出来事につながっている。かつて水と空気の祭りが行われた際、島に戻った人々が残したものだ。アオの洋服にも、おばあちゃんがその模様を刺繍している。

CHARACTERS

ドードー



アオが出会う不思議な鳥。
人間の言葉が話せるが、
飛ぶのは苦手。



EXTINCT ANIMALS



ティラノサウルス
最大級の肉食恐竜。嗅覚が鋭く、
わずかな獲物のおいも逃さなかったとされる。

トリケラトプス
3本の角を武器に戦った草食恐竜。
首を守る大きなフリルが特徴。

マンモス
寒冷地で生きていたゾウの仲間。
大きな牙は一生伸び続けるとされる。

ニホンオオカミ
かつて日本の山に生息していたオオカミ。
人々から「守り神」とも呼ばれていた。

ダンクルオステウス
古代の海に生きた最大級の魚。
強力なあごで硬い甲殻類や他の魚を
噛み砕いた。

始祖鳥
恐竜に似た姿を持つ、最古の鳥類。
空を飛べたかどうかは
いまま議論が続いている。

パラドコビテクス
約1000万年前に生きていた猿人類の仲間。
人間の遠い祖先にあたる可能性がある。

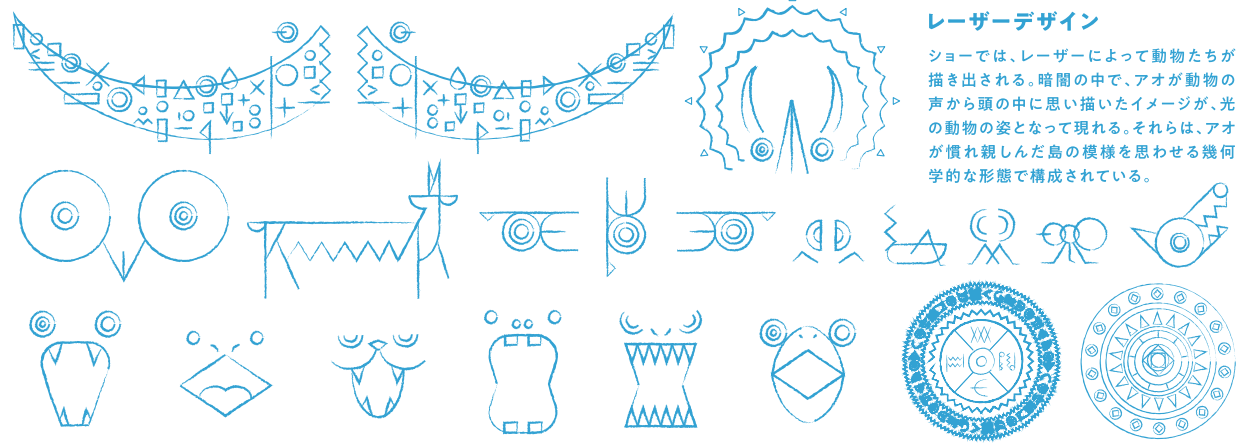
エビオルニス
マダガスカル島に棲んでいた巨大な鳥。
卵はサッカーボールよりも大きかった。

アンモナイト
恐竜が登場するよりも前から海にいた
軟体動物。世界中に分布し、
多くの地層から化石が見つかる。

マカイロドゥス
長大な犬歯が特徴の肉食獣。名前は
古代ギリシャの短剣「マケラ」が由来。

ワライフクロウ
ニュージーランドに生息していたフクロウ。
突いているような鳴き声で知られていた。

アノマロカリス
古代の海に君臨した捕食生物。複眼は
360度を見渡せたと考えられている。



レーザーデザイン
ショーでは、レーザーによって動物たちが
描き出される。暗闇の中で、アオが動物の
声から頭の中に思い描いたイメージが、光
の動物の姿となって現れる。それらは、アオ
が慣れ親しんだ島の模様を思わせる幾何
学的な形態で構成されている。

アオが住む島の伝承歌

にじまつり

作詞 田中直基、菅野よう子
作曲 菅野よう子

眺ねる はずむ ひらく

宵のしじま 夢はさま 空泳いだ

憶えてる 憶えてる

遠く 近く 高く

ひとよひとつ またたいて 影ほどいた

憶えてる 憶えてる

ざわざわ ざわわ

あのよ このよ

ひなひな 泣いた

咲いた わらった

寄れ寄れ ひとつ ふたつ みつつ
にじまつり

ざわざわざわわ

あのよ このよ

ひなひな 泣いた

咲いた わらった

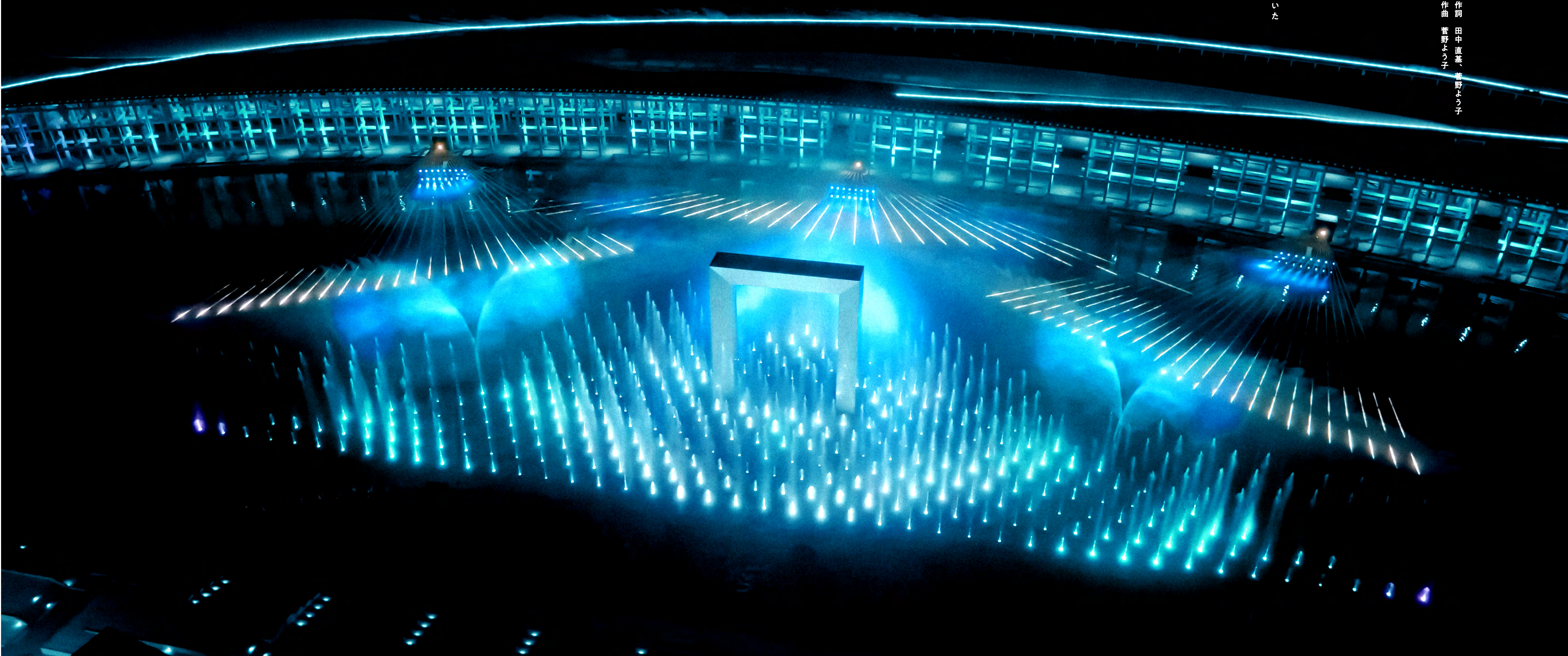
寄れ寄れ ひとつ ふたつ みつつ
にじまつり

水と空 気うみとそら

ここにある ここにいる

水と空 気うみとそら

ここにある ここにいる



PRODUCTION NOTES

とにかく書いて、描いて。

ストーリーを文字で書いて、絵を描く。それを見て、また文字を書き、絵を描く。その繰り返し。横幅400メートルの水辺エリアという途方もないスケールに、噴水やスクリーン、レーザー、炎、そして音楽といった要素が重なり合うスペクタクルショーも、始まりは一筆からだった。



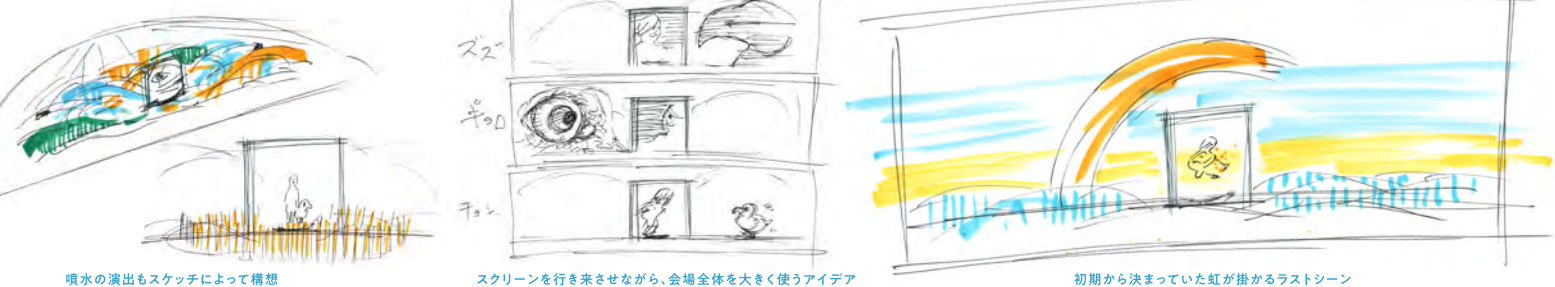
コマごとに描いた絵をストーリーに合わせて並べてみる。最終的にはテーブルに収まりきらず、床にまで広げて並べていた。



噴水を両手に使うだけでなく、静けさも表現できないかの検証

映像と噴水のタイミングを合わせて迫力を出す演出

躍動感を共有するためのスケッチ

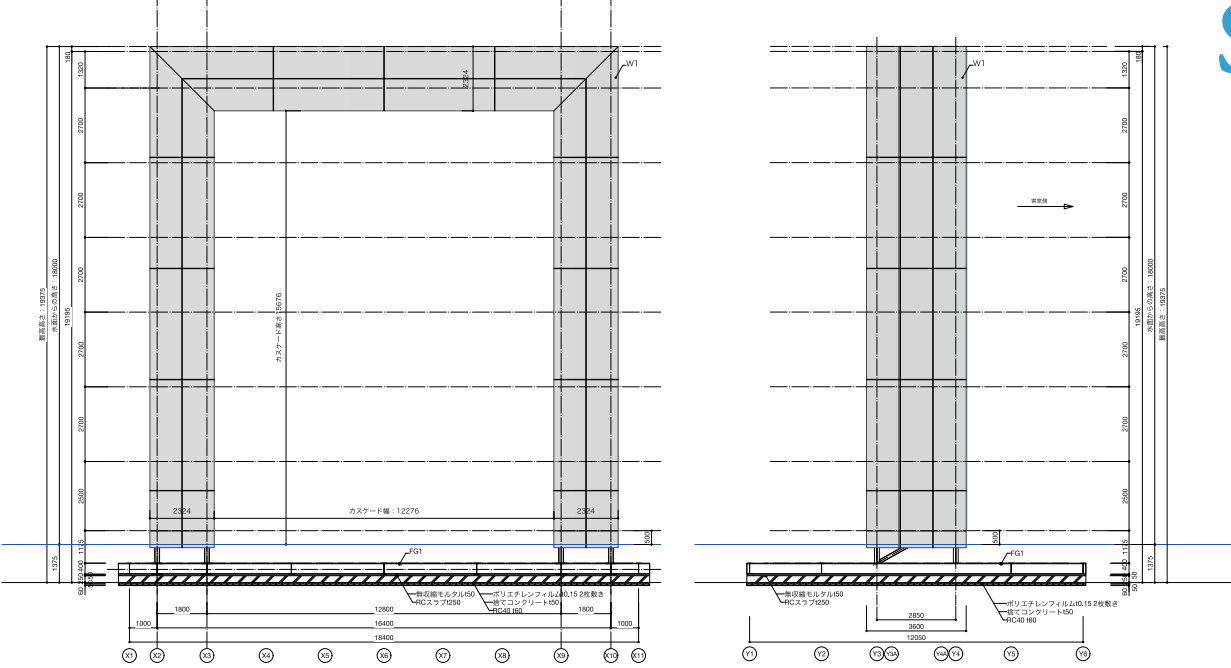


噴水の演出もスケッチによって構築

スクリーンを行き来させながら、会場全体を大きく使うアイデア



何度もスケッチを描いた後、重要なカットをグラフィック化して、チームと審議を重ねていく。

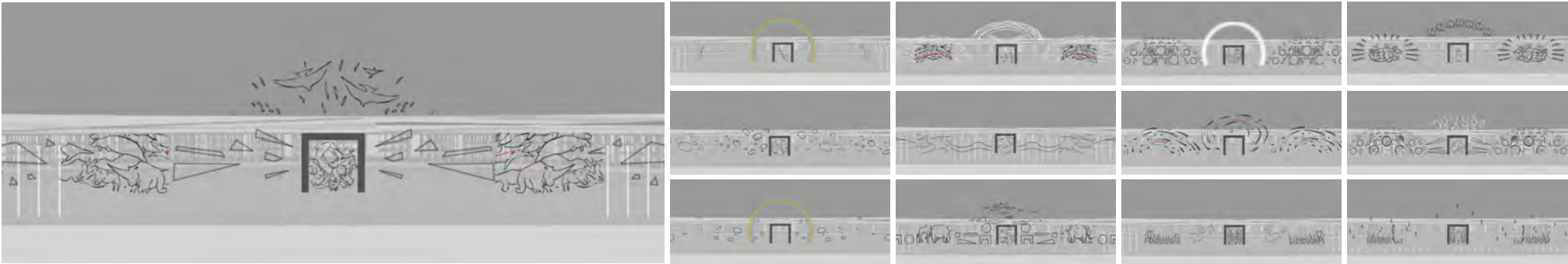


オブジェ最終図面。スクリーンとなる投影面には、水を下に落とすためのウォーターカスケードを使用している。

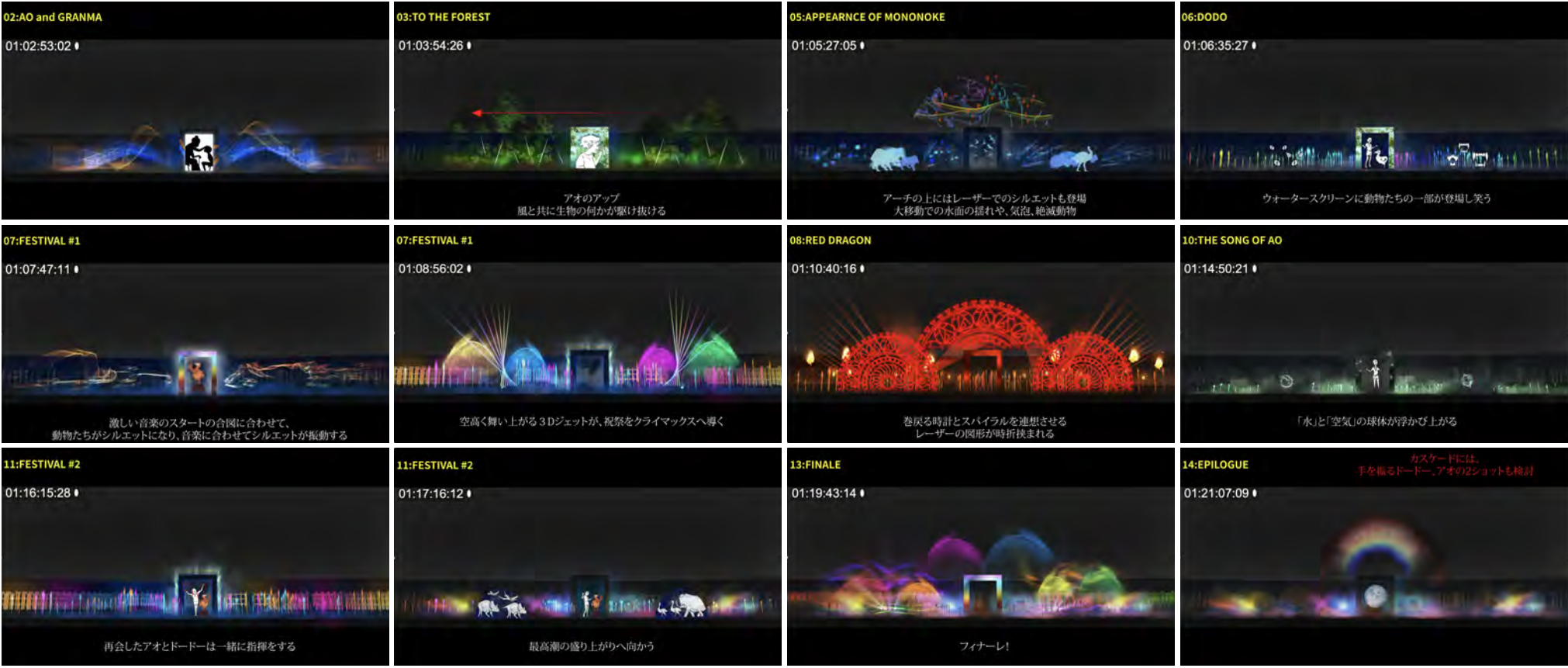


初期のオブジェラフ。オブジェの塔の数だけでなく、階段状のステージ型や樹木、円盤など、さまざまな形状が検討されていた。

ディレクターラフ動画コンテ 流れが見えてきたところで、全シーンを絵コンテ化し、動画で整いで音楽を入れ、タイミングを確認した。



最終コンテ 噴水が万博会場に完成する前に、詳細なビジュアルを用いて映像と噴水、レーザー、炎の演出を一秒単位で検証し、現場に臨んだ。



SUNTORY HOLDINGS LIMITED Hiroaki Horie Miyuki Maeda Hidekazu Nakai Nobuo Asada Takatori Yagi Yuichi Osuni Takahito Yamashita Sachio Nasada Kazuki Miura Shoko Masuda Tomoko Sasahara Hirokazu Sakamaki Minoru Tanigawa Kazuki Kitahara Tomoko Fujiwara	DAIKIN Industries, Ltd. Tomohiro Mizuguchi Masaharu Minami Yoriko Matsumoto Naoto Imai Koichiro Seki Koki Morimoto Hiroyuki Mori Takashi Amano Rieko Hato Toshio Shimizu Sawako Nakaga Mankichi Mitsumoto Maya Takizawa Yumi Ohta Takayuki Kikuchi Sayaka Nagai Takashi Hisatome Yasuhito Teranishi Akhiro Tokuchi Yui Uigawa	CREATIVE Naoki Tanaka Shunuke Kaga Yusuke Koyanagi Hirofumi Itoya Taichi Suyama Yasuhito Tsuchiya Kana Nakano Koki Morimoto Asushi Otaki Kazuya Kishimoto Shinya Miura Shintaro Murakami Fumiya Ohta Ryo Suetomi Miyuki Fujishima Shun Aoki Akiko Yabumoto Masahiro Kawashima Keita Kuki Samuel Nelson Shun Onozawa Kou Mikuni Itsuki Ikeda Yusuke Kazutoshi Masatoshi Kurita	Nobuhiro Nakaji Naoki Tanaka Shunuke Kaga Yusuke Koyanagi Hirofumi Itoya Taichi Suyama Yasuhito Tsuchiya Kana Nakano Koki Morimoto Asushi Otaki Kazuya Kishimoto Shinya Miura Shintaro Murakami Fumiya Ohta Ryo Suetomi Miyuki Fujishima Shun Aoki Akiko Yabumoto Masahiro Kawashima Keita Kuki Samuel Nelson Shun Onozawa Kou Mikuni Itsuki Ikeda Yusuke Kazutoshi Masatoshi Kurita	GENERAL PRODUCERS Asahi Iwahashi Miyuki Fujishima Shun Aoki Akiko Yabumoto Masahiro Kawashima Keita Kuki Samuel Nelson Shun Onozawa Kou Mikuni Itsuki Ikeda Yusuke Kazutoshi Masatoshi Kurita	PRODUCTION PRODUCERS Takahiko Kajima Yuta Saito Fumihito Anzai	BUSINESS PRODUCERS Hirofumi Matsuyama Ataru Iwahashi	ARCHITECTS Yohji Shinkawa Eiko Hasegawa Mio Mizoguchi Yusuke Kinoshita Takumi Kobayashi Ryou Ikegaki Hironori Tanigawa Kouji Kuroki Shinya Nomiyama Hiroshi Morimoto Ryosuke Uesugi Koutarou Ueki Masashi Hirano Satoru Takahashi Daisaku Yamahata Takahiro Kono Junya Hirai Mayu Inaba	MUSIC Keisuke Tomioka Yoko Kanno Masashi Yabuhara Mizuki Ito Kazuki Nishi Mayu Inaba	Hiroaki Iwasaki Nobuyoshi Saito Yuchiro Ide Masashi Kumai Yohji Kamide Rensuke Mizushima Katsuyuki Taira Sogo Watanabe Ryoji Teijima Yohji Hironobu Shuhei Yamashita Kenji Iwamura	Hana Mouri (Ao) Yui Morishita Benjamin Nuss Koichiro Muroya Strings Rensuke Mizushima Tsuneo Imahori Jun-ichiro Taku Takayuki Mogami Hidehiro Naka Akira Ishikawa Kei Suzuki Kenichi Tsujimoto Ryo Noda Akane Hoshino Shintaro Takase Koushi Nakanishi Koichi Nonoshita Hiroshi Imai Yudai Shoji Kazuki Nishi Mataro Misawa	Suginami Children Choru Utahito Zannai Samady Keishi Urita Sumechi Narayanan Delhi Sairam Anirudh Athreya Alathur Rajaganesh Sunil Kumar Chandrasekhara Sarma Ghatam Krishna Sai Subramaniam Akira Ito Noriko Sekiya Uehara Miki	VIDEO DESIGN Aisushi Makino Jiro Watanabe Satoshi Takeno Fumika Kinoshita Yuta Kanazawa Taro Adachi Shoya Sato Fuka Kawaguchi Mitsunobu Soremya Masataka Tetsuyama Sari Kubo Koshei Miki Kotaro Aruma Mizuki Sato Devon Roderick Kei Kidera Kota Kaahara Toshiki Watanabe	OPERATIONS SERVICES Keizo Ohata Takayuki Nakagawa Shuhei Yamamoto Akhiro Yamaguchi Kenji Hironaka Makoto Hasegawa Shoya Sato Ryohji Takeda Tao Katashina Ryusuke Takayama Shunji Fujishima Chigusa Samura Akiko Miyama Kenji Suzuki Urban Connections Co., Ltd.	ACCESSIBILITY SERVICES Yusuke Koyanagi Hirofumi Itoya Taichi Suyama	MAKOTO TAKEDA Yuka Yonemoto Kana Kubosawa yoshiko Suda Mizuki Kajimoto Mitsuko Takenouchi Ko Takashima Yukio Tamura Soichiro Matsui Kazuyuki Kikuchi Nami Eguchi Shunya Tanaka Any Floris Christiane Brew Nick Silveris James Watt Steve Wiley Daianee Takahashi	Kota Terayama Shuto Hashiura Takanori Ito Hiromichi Orihata Miki Fukuda Yasushi Miyatake Ryuji Ikuta Yusuke Takahashi Miya Narimatsu Miki Fukuda Ryu Kato Junichi Namiki Hiroshi Hirata Tepei Kanda Christiane Brew Nick Silveris James Watt Steve Wiley Daianee Takahashi	Naoto Suzuki Yuichi Higashihashi Akihiro Inoue Teshima Daiki Morimoto Hiroshi Riki Nakamura Yuta Saito Eno Miura Yuma Hirai Ryo Yokota Shogo Nagata Daisuke Tanaka Takuto Ono Shunpei Takahashi Kaho Kumagai	AR Naoki Tanaka Atsushi Otaki Yusuke Koyanagi Taichi Suyama Keita Kuki Shintaro Murakami Fumiya Ohta Akiko Yabumoto Hiroshi Yamashita Miyuki Fujishima Tomoya Morohoshi Shunki Hasegawa Yuto Kumon Ken Maruyama Kazumasa Takashima Eisuke Namba Masahito Imamura Keisuke Tomioka Shingo Sakai Masashi Yabuhara Takashi Saito Hiroyuki Tsuki Shuhan Li Ipppei Morimoto Ryoshei Onchi	VIRTUAL Naoki Tanaka Atsushi Otaki Yusuke Koyanagi Ryo Suetomi Miyuki Fujishima Tomoya Morohoshi Shunki Hasegawa Yuta Saito Eno Miura Yuma Hirai Ryo Yokota Shogo Nagata Daisuke Tanaka Takuto Ono Shunpei Takahashi Kaho Kumagai	MUSIC VIDEO Sohel Higashi Takuya Ishikawa Ryu Kato Junichi Namiki Hiroyuki Tsuki Shuhan Li Ipppei Morimoto Ryoshei Onchi	INTERACTIVE INSTALLATION Naoki Tanaka Atsushi Otaki	PR Hana Moriwaki Shiori Kuroda Shiori Inamoto Nozomi Kawamura Ryosuke Uemura	EXPO ASSOCIATION Kenji Kohashi Isaki Takeda Takahiro Ishizuka Shingo Iwamoto Yuki Fujita	CROWD MANAGEMENT Takeshi Hikosa Mitsuhiko Mizoguchi
--	--	---	---	--	--	---	--	---	--	---	---	--	--	---	--	---	---	---	--	---	--	--	--	--

SCENOGRAPHY

噴水装置は300基を超える。そこに、ウォータースクリーン映像や音楽、レーザー、炎など複数のメディアを舞台装置のように駆使しながら同期させることでショーを構築した。



300基の噴水が水底に配置された。



建屋に設置されたECA2のオペレーションルーム。ここでショー全体の制御が行われていた。



日々のメンテナンスと噴水の検証風景。3年間にわたるシミュレーションを、2ヶ月かけて仕上げていた。

MURAL

スタッフが常駐する建屋。その自動販売機のある壁には、ショーの看板となる壁画が、OVER ALLsの画家・山本勇気によって筆とスプレーで直接描かれている。



GRANDMA'S MEMORIES

アオと夜の虹のパレードは、アオのおばあちゃんが「夜の虹」の話をすることから始まる。伝承歌のミュージックビデオでは、おばあちゃんがかつて体験した不思議な話を見ることができる。ディレクター加藤隆が書き下ろした美しいイラストレーションも必見。



MESSAGE

アオ役 毛利 花さん

最高峰の技術、そして関わられたすべての方の熱意と愛情が詰まった作品だと、完成した水上ショーを見て改めて実感しました。その中でアオとして生まれた経験は私にとって一生の宝物です。美しい映像、素晴らしい音楽に加え、物語に込められた美しいメッセージを、アオの冒険を通して皆さまの心にお届けできたら幸いです。

ドードー役 友近さん

改めて、この地球で生きることの大切さやありがたさを感じさせてくれる作品でした。アオとドードーの物語を通して、人との出会いや生き物との触れ合いなど、すべての命のつながりが私たちを成長させてくれるのだと学びました。このような素晴らしい作品に携われたことを、心から光栄に思っています。

おばあちゃん役 夏木 マリさん

水と空気の記憶を辿る、奇跡の物語をご覧になりました。誠にありがとうございました。私たちECA2チームは、このショーを皆さまにお届けできたことを心から誇りに思っています。皆さまからいただいた温かい反応は、私たちにとても励みになります。これからも、皆さまの心に寄り添う作品を制作していきます。

原案・総合演出 田中直基

次の100年、1000年、この星のすべての「いのち」が輝いてほしい。そんな想いを込めて、みんなで力を合わせてこのショーを作りました。ドードーも言ってます。一つの歌をみんなで歌うかのように、気持ちも一つになれば、どんな素晴らしい未来だって手に入る。この星は強い！です。ありがとうございました。

音楽 菅野よう子

もうすぐ、まつりが終わる。毎夜、人々がつどって、毎夜、違う虹を見た。終わりは静かで、いつもこそしきみしいけれど、これもまた、大きな循環の一部。生命はまた、新しい歌をうたうだろう。

設計、空間演出・制作 ECA2



この度はご来場いただき、誠にありがとうございました。私たちECA2チームは、このショーを皆さまにお届けできたことを心から誇りに思っています。皆さまからいただいた温かい反応は、私たちにとても励みになります。これからも、皆さまの心に寄り添う作品を制作していきます。